

共通科目 8科目16単位

共通科目は、教職コア科目としての5領域8科目16単位の履修により、教職の専門性を体系的・総合的に学ぶことを目的としています。基本的には1年次に履修します。

講義で理論的アプローチによる学びを行い、基礎知識を習得するとともに、今日的課題を整理します。演習では、理論的アプローチによる基礎知識を踏まえて、事例研究、模擬授業等のアプローチにより、実践的課題について知見を深めるとともに、自らの実

共通科目【学校臨床力高度化系】

区分	授業科目名(各2単位)	授業の概要
第Ⅰ領域	カリキュラムの開発と実践A (初任期教員養成コース)	本科目では各教科の単元計画を構想する。単元目標を達成するために各授業をどのように関連させて単元を構想するのかを学ぶ。また、ミドルリーダーとして各校の研究主任を担った場合に、各校のカリキュラムマネジメントができるように、現代的なテーマの「カリキュラム開発と運営の実際」を学ぶ。フィールドワークは先進的なカリキュラムを開発している小中学校において、その開発の方法と運営について実践的に学ぶ。
	カリキュラムの開発と実践B (中核教員・リーダー教員養成コース)	本科目では各教科の単元計画を構想する。単元目標を達成するために各授業をどのように関連させて単元を構想するのかを学ぶ。また、これまでの現場での経験を踏まえて、各校のカリキュラムマネジメントができるように、現代的なテーマの「カリキュラム開発と運営の実際」を学ぶ。フィールドワークは先進的なカリキュラムを開発している小中学校において、その開発の方法と運営について実践的に学ぶ。
第Ⅱ領域	必修 授業デザインとICT活用A	教育におけるICT活用の在り方を、教育方法学の様々な概念装置を活用して捉え直し、活用する技術を身につけるとともに、授業デザインにつなげることを目的とする。具体的には、ICTを使った教育方法の実践事例・言説に対する批判的分析、実際の機器を使用した演習、授業のデザインと検討を行う。
	選択必修 教科指導実践演習A (初任期教員養成コース)	実務家教員より「教科における授業づくりの手順とポイント」および「模擬授業」について説明を受ける。この説明をもとに受講生は「授業の指導計画と教材研究、学習指導案づくり」を行い、「模擬授業」を実施し自身の課題の発見と修正をおこなう。続いて校種(小・中)別にフィールドワークを実施する。フィールドワークでは、教科の授業を中心に参観し、授業目標・内容・方法などを観察する。その上で、受講生は再度「模擬授業」を実施する。第2回目の模擬授業では課題を修正しよりよい授業をおこなうことが求められる。最後にグループワーク・全体討論などをおこない、自身の教科指導力を高める。
	選択必修 教科指導実践演習B (中核教員・リーダー教員養成コース)	自身の授業実践上の課題や校内の授業改善の課題について、フィールドワークや模擬授業・グループワークにより課題解決の方策を探る。フィールドワークは、言語活動の充実・共同的な学習・通常学級における特別支援など、授業改善のポイントとされる課題について研究を進めている学校を予定している。フィールドワークでの学びを生かし、「模擬授業」を行い、グループワーク・全体討論により自身の「授業改善案」を作成する。
第Ⅲ領域	選択必修 生徒指導・教育相談の理論と実践A (初任期教員養成コース)	広義の生徒指導のあり方について学ぶ。非行や体罰、いじめ等についてその基本的な考え方、個別指導、集団指導、学級・学年・学校経営、学習や授業との関連、学校内外の連携やチームによる支援、また特別支援教育とのかかわりなど、今日的な生徒指導上の具体的な課題について、教育学の知見をベースに、総合的な生徒指導力を身につけることを目指す。
	選択必修 生徒指導・教育相談の理論と実践B (中核教員・リーダー教員養成コース)	非行や体罰、いじめ等の対応について、学級経営・学年経営・学校経営の視点から、これまでの自身の経験を振り返る。さらに、特別支援教育の考え方をふまえたチームによる支援や学校内外との連携など、刻々と変わる新たな生徒指導に関する考え方についても学ぶ。ミドルリーダー・管理職として、自分の勤務する学校の生徒指導体制を再確認しながら、今後に向けて生徒指導計画案を検討するなどして、総合的な生徒指導力の向上を目指す。
第Ⅳ領域	選択必修 学級経営の実践と課題A (初任期教員養成コース)	学級経営とは学級における教育の全領域を通して行われる核となる機能であり、教員・児童生徒・保護者の複雑な相互作用のなかで展開される。そのため、断片化した技術ではなく、文脈依存的な力量が必要であり、根本的な見方や考え方を身につける必要がある。したがって、授業では理論的な考え方や事例の検討、ロールプレイ、学校でのフィールドワークなどを通して、学級経営について具体的なイメージを持ち、自分なりの見方・考え方を身につけることを目指す。
	選択必修 学級経営の実践と課題B (中核教員・リーダー教員養成コース)	本授業では理論と実践との架橋という観点から大きく3つの内容から構成する。1つめは学級経営の今日的課題に関すること、2つめは理論を踏まえた若手教員や初任者教員への支援のあり方、3つめは校内体制の見直しに関することである。
	選択必修 学校づくりと学校経営A (初任期教員養成コース)	学校における教育関係に関する省察を行うための知識基盤の形成を目指して、学校教育の歴史、制度、実態について学習し、学校観の更新を図るとともに今日の学校経営の課題と教師の役割についての理解を深める。
第Ⅴ領域	必修 現代社会と学校教育	多種多様な問題を生み出し、それへの対応や解決の道筋が不透明になっている今日の学校教育のあり方について、公教育・学校教育の本質的な認識や社会変化によるその課題を整理するとともに、さまざまな問題現象に関するディスカッション、対話を通じて理解を深めていく。
	必修 教員の職務と役割	公教育制度における教員の職務と役割について、その法制度に関する理解を深め、専門職としての教員の社会的責任、法的責任について考察する。特に、教員の職業倫理について考察し、理解を深めること、裁判となり、法的責任をめぐって争われた事例について検討することにより、論理的思考力、判断力を養うこと、教員の資質向上について検討し、どのような教員を目指すか自ら目指す教員像について考察するものである。

(※)授業科目名末尾の記号:「A」は初任期教員養成コース、「B」は中核教員・リーダー教員養成コースの科目です。ただし、「授業デザインとICT活用A」及び第Ⅴ領域(2科目)の科目は、両コース合同科目です。

践力の課題を明確にします。そして5領域の各科目で学んだことを各自で総合化し、分析・省察を通じて理論的な再構築を行うことが期待されます。そこに理論と実践の往還をめざした教職大学院での学びの特色があります。

各領域を専門とする研究者教員と教育実践に精通した実務家教員とがペアとなって担当することを基本としています。また授業科目によっては、「学部新卒院生」と「現職教員院生」とでクラスを分けて授業を行うものもあります。

共通科目【教科研究開発高度化系】

区分	授業科目名(各2単位)	授業の概要
第Ⅰ領域	必修 カリキュラムの開発と実践C	各教科等の単元計画を構想する際、単元目標を達成するために各授業をどのように関連させて単元をつくるのかを学ぶ。また、ミドルリーダーとして各学校の研究主任を担った場合に、学校全体を視野に入れたカリキュラム・マネジメントができるように、現代的なテーマに関するカリキュラムの開発と運営の実際についても学ぶ。その際、幼小接続の考え方についても検討する。
第Ⅱ領域	必修 授業デザインとICT活用C	まず担当者がそれぞれの視点から幼児教育から高等学校教育においてICTを利用することの意義や課題について述べる。次に、授業における特色あるICT活用の実践を行っている京都府市の小中学校(いずれかの対象校1校)を訪問し、授業参観及び担当教員へのインタビューを行い、授業における特色あるICT活用の実践方法、課題等について理解を深める。そして数人のグループに分かれて、ICTを活用した授業をデザインする演習を通して、ICTを活用した授業づくりのための授業(保育)デザイン力を高める。
	選択必修 教科指導実践演習C	理系・文系・芸術系研究者教員より「教科における授業づくりの方法とポイント」および「模擬授業」について説明を行う。この説明をもとに受講生は「授業の指導計画と教材開発・研究、学習指導案づくり」を行い、「模擬授業」を実施し自身の課題の発見と修正をおこなう。続いて校種(小・中・高)別にフィールドワークを実施する。フィールドワークでは、教科の授業を中心に参観し、授業目標・内容・方法などを観察する。その上で、受講生は再度「模擬授業」を実施する。最後にグループワーク・全体討論などをおこない、自身の教科指導力を高める。
	選択必修 【幼児教育専門履修科目】 保育内容指導法演習	領域「表現」「言葉」を中心に具体的な指導場面を想定した教材研究を行い、幼児の音楽的・言語的発達の特性をふまえた環境構成と援助のあり方を理解する。ロールプレイやグループディスカッションを通して、幼児の主体的な表現を引き出す指導技術を習得する。また、国内外の先進的な保育実践について映像教材等から学び、わが国における実践上の問題点などに関してディスカッションを行う。
第Ⅲ領域	必修 生徒指導・教育相談の理論と実践C	学校教育における「子ども理解」を主軸とした、生徒指導・教育相談及び特別支援教育についての基本的な理論と課題を学ぶ。1.生徒指導・教育相談の基本事項、アセスメント、カウンセリング・マインド、チーム支援や保護者支援について、基本的な知識を身に付ける。2.特別支援教育に関する講義・演習を通して、多様な背景を持つ児童生徒を対象とした生徒指導・教育相談について理解を深める。3.フィールドワークや事例のディスカッションによる実践的な学びを通して、子ども理解の視点を、学校現場における生徒指導・教育相談、さらには教科指導にいかにか生かしていくかについて考え、教職専門実習1において取り組み課題を明確化する。
	選択必修 生徒指導・教育相談実践演習	『生徒指導・教育相談の理論と実践』で学んだ理論や子ども理解の視点及び教職専門実習の経験を基盤に、観察とディスカッションに焦点を置いた演習を通して、多様化・複雑化する生徒指導・教育相談上の課題に取り組む際に、多様な視点から、児童生徒の行動の背景に想像力を働かせ、児童生徒及び教師自身の情緒的体験を探索し、答えのない事態に持ちこたえて考え続ける力の醸成を目指す。フィールドワーク(子どもを見ることを目的とする授業観察)、ワーク・ディスカッション(子どもと教師の情緒的交流の理解と探索を目的とする事例検討)、ロールプレイの3つを柱とする演習を行う。
第Ⅳ領域	必修 学級経営の実践と課題C	学級経営という言葉の不思議さは、経営の主体と対象が必ずしも明らかでない点にある。幼児・児童・生徒は学級経営の主体か対象か、学級担任教員はどんな立ち位置を占めるのか。これら学級という場の不思議さを見つめるとともに、そこでの教員の力量の基礎として、広い視野とともに多面的な状況理解を促すことが目標である。授業では学級に関する基本用語の検討のほか、映像資料の視聴やロールプレイ等を通して、学級経営とその環境について複数のイメージを持てること、そして教育実践上の多様な方略を持てることを目指す。
	選択必修 学校づくりと学校経営C	教員として学校教育に携わる上で求められる、学校経営の理念、制度、実態に関わる基礎的理解を深めるとともに、自身の学校観と教育観あるいは児童生徒観を揺るがし恒常的な更新につなげられる、学校教育の批判的考察と分析上の力量の基盤を築くことを目指す。
第Ⅴ領域	選択必修 【幼児教育専門履修科目】 幼児期におけるクラスづくりと園づくり	乳幼児期の教育における集団生活と保育者の役割を理解した実践ができるようになるために、乳幼児期における個と集団の育ちの特徴を理解する。その上で、年間指導計画や実践についてクラスづくりに関する課題の分析・評価を行い、改善の方策について考える。また、家庭や地域社会と連携した質の高い幼児期の教育の展開として、社会に開かれた幼児教育について実践事例を通して学ぶ。
	必修 社会と学校教育・教員における現代的課題	人権教育、グローバル教育、共生教育等の理念について学ぶ。具体的には、子どもの生活・社会的背景の多様性や差別について理解したうえで、子どもの貧困、虐待、外国人幼児児童生徒、学校教育が直面する現状と課題について深く分析し、教員としての関わり方を考える。

(※)授業科目欄に【幼児教育専門履修科目】の表記がある科目は、幼稚園教諭専修免許状取得に関わる科目です。